人にやさしいまちづくり

■中里なかよし保育園の元気いっぱいの園児たち

人と人の絆の大切さを心に刻んで

子育て世代への支援、高齢者への支援、障がいのある方への支援、教育環境の整備を通じて、次世代の担い手を育み、高齢者を敬い、弱者を守る「人にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。

保育サービス・子育て支援の充実

子育てを社会全体の課題としてとらえながら、家庭・地域・保育園・学校・企業・団体・行政が連携し、安心して子どもを生み育てられる環境を整備することが急務です。そのため、子育て支援施設や保育サービスの整備・充実はもちろん、子どもの医療費の助成やひとり親世帯への支援などを行い、子育て世代から選ばれる地域を目指しています。

明日を担う子どもたちを育む教育環境の充実

子どもの豊かな学びと育ちの実施を目指して、4つのモデル中学校区で小中一貫教育の取組みを始めました。平成25年度には市立特別支援学校を開設し、特別支援教育の充実を図ります。また、小・中学校の施設整備や学校給食を活用した食育の推進に取り組みます。さらには、小学6年生の妻有焼体験学習や中学1年生の和装教育事業を継続するとともに地域の偉人の功績をまとめた社会科副読本を活用するなど特色ある教育を推進し、「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」の育成を図ります。

地域で支え合う障がい者福祉サービスを

障がいのある方の社会進出をより一層進めていくための手立てとして、経済的自立が図れるように市が積極的に仕事を発注し、障がい者施設からの物品購入を拡大するなどの支援策を行っています。やがては、地域全体で支え合いができるまちに。そんな人にやさしいまちづくりを官民協力し合って進めていきます。

高齢者福祉サービスと施設の充実・整備を推進

お年寄りに元気で長生きをしていただくために、健康増進のためのプログラムを拡充し、一人暮らしのお年寄りや高齢者のみの世帯には、除排雪や生活交通の確保など、不安のない生活を送れるようにサポート体制の充実を図っています。また、介護が必要な方のために、介護福祉施設の整備を図るとともに、現在ある遊休施設等の活用も視野に、地域に密着した高齢者住宅やグループホームの整備を推進します。

■きものサークル「わかむらさき」／きものの まちの小学校ならではのサークルで、きものの名称、種類、着方、帯の結び方など、着物の歴史・文化を学びます。

■和装教育／和装教育は、市内の全ての中学校で行われています。十日町織物工業協同組合の職員の皆さんから、きものの歴史や着付けなどを学びます。

■学校給食／地産地消の理解・食育の一環として、給食の食材を提供している生産者の皆さんを招待して子どもたちと一緒に食べる機会を設けています。

■特別養護老人ホームよしだ／特別養護老人ホームについては、待機者の解消に向けて、吉田地区、松代地区、川治地区をはじめ増床整備を進めています。

■市長 敬老の日100歳者訪問／毎年、市長が敬老の日に、100歳になった市民のお宅に表敬訪問。記念品を届けてお祝いの言葉をかけます。

■ワークセンターなごみ／就労支援に特化した事業所で、一般就労への移行を支援しています。豆菓子、クッキー、かりんとう、木工品、刺し子などを作って販売しています。

⊙*City development that treats people gently.*

Initiatives are cementing the importance of relationships between people.

Efforts are being made to ensure that city development in Tokamachi treats people gently, raising the bearers of future generations, respecting old people and protecting the weak through support for the child-raising generation, provision of nursing services, support for the elderly, provision of care worker facilities, support for people who have difficulties, maintenance of the educational environment, and implementation of all kinds of education projects.

⊙建设以人为本的城市。

将人与人之间纽带的重要性铭记于心。

支援育儿年龄层的家庭、完善保育服务、帮助老年人、完善护理福利设施、关爱残障人士、完善教育环境、推进各种教育事业，通过这些来培养肩负下一代重任的人才，开展尊敬老人、爱护弱者的“以人为本的城市建设”。

「子ども教室」を通じて、子どもたちの心の成長を期待。

放課後、保護者の勤めなどの関係で、家に帰っても面倒を見てくれる大人がいない子どもたちに、安心して遊んだり、勉強したりできる時間と場所を作ってあげたかったというのが一番の目的です。子ども教室の内容は、その日の宿題や読書をはじめ、工作、手品遊び、体育館でのスポーツなど。子どもたちの自主性を尊重し、子どもたちがのびのびと自由に過ごせるよう気を配っています。また、クラスメイトや先生、両親とはちがう、異年齢や異性、大人との交流が、子どもたちの心の成長につながることを期待しています。

■子ども教室／いつものようにまず宿題を終わらせて、スタッフと一緒に夢中になって七夕飾りを作る子どもたち。小学1～3年生が中心に利用しています。

NPO法人ほほえみ 子育て支援事業班

2010年4月より活動開始。現在18人が在籍しています。放課後、勤めなどで保護者がいない児童に対して、安全に過ごせる居場所を提供、児童の社会性の育成と地域の教育力の向上を目指しています。